



史料室だより

清泉女子大学史料室 Seisen University Archives

No.9 史料室開室記念

ミニ・シンポジウム



3月6日に「史料室開室記念ミニ・シンポジウム ～コンドルの多面性～」を本学史料室にて開催いたしました。

パネリストには、本学本館の設計者であるジョサイア・コンドルに詳しい3名の先生をお迎えし、史料室関係者等15名ほどが集い貴重なお話を伺うという、贅沢な時間でした。

その様子は、近日中に動画で公開いたします。

公開の際は本学ホームページ (<https://www.seisen-u.ac.jp/>) の「ニュース」にてお知らせいたしますので、どうぞご覧ください。

【開催内容】

日時

2025年3月6日(木) 13:30～15:30

会場

清泉女子大学史料室(3号館2階 旧島津家本邸事務所)

パネリスト紹介/講演内容

1.河東義之先生

本学の文化財建物保存顧問を務めていらっしゃいます。

旧島津家本邸(本学本館)の、タイル建築としての新たな評価についてお話くださいました。また、2021年から2022年に行われた旧島津家本邸事務所(本学3号館)の耐震対策工事についても解説してくださいました。

2. 角田真弓先生

東京大学大学院工学系研究科の技術専門職員として勤務されています。

コンドルの教育者としての側面にスポットを当てたお話でした。コンドルが学生に出題した試験問題や、コンドルより2歳年下の学生であった辰野金吾（東京駅の設計者）の課題設計図面に辛口のコメントを書き記している資料などの紹介もあり、コンドルの人間性に触れることのできる内容でした。

3. 高野禎子先生

今回のシンポジウムのコーディネーターであり、本学の文化財建物保存顧問を務めていらっしゃいます。2023年に本学を退職されるまで、本学文化史学科教授として西洋美術史の研究と学生指導にあたられました。

コンドル建築における噴水という存在の意味について、パーマーやブリンクリーといった外国人ネットワークにも触れながら、その深い謎を解き明かしていくようなお話でした。



質疑応答の様子



登壇者を囲んで

「史料室だより」は清泉女子大学公式Instagramにて連載中です。